

統計研究会議開催要領

令和 7 年 4 月 28 日
総務省統計研究研修所

1 目的

統計研究研修所は、統計局、政策統括官（統計制度担当）及び独立行政法人統計センターとともに我が国の中央統計機構として位置付けられている。

社会経済情勢の変化やデジタル技術の進化等を踏まえ、統計へのニーズも多様化・高度化する中で、中央統計機構としての役割を一層適切に果たすため、複数省庁に関連する事項など、統計に関する重要な研究諸課題について、プロジェクト化して推進することを目的として、統計研究会議（以下「会議」という。）を開催する。

2 研究プロジェクト

- (1) 経済活動の把握に関する研究プロジェクト
- (2) 統計データの利活用高度化に関する研究プロジェクト
- (3) ビッグデータ、A Iに関する研究プロジェクト
- (4) データ利便性、統計教育に関する研究プロジェクト

3 構成員

- (1) 会議は、統計研究研修所長が主宰する。
- (2) 会議の構成員は、別紙のとおりとする。
- (3) 必要に応じ、協力者として、統計研究研修所長が指名する構成員以外の者の参加を求めることができる。

4 開催

会議は、各プロジェクトの進捗に応じ、おおむね年 3 ～ 4 回を目途に開催する。

5 運営

- (1) 会議の庶務は、統計局、政策統括官（統計制度担当）及び独立行政法人統計センターの協力を得て、統計研究研修所研究部研究開発課において処理する。
- (2) 会議は、公開することにより構成員間の率直な意見交換が損なわれるおそれがあるため原則非公開とするが、会議終了後に配布資料を公表するとともに、議事概要を作成し、公表することとする。ただし、主宰者が公開することにより支障があると認めるときは、配布資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

(別 紙)

統計研究会議の構成員

<構成員>

會田	雅人	滋賀大学データサイエンス・AI イノベーション研究推進センター 特任教授
加藤	久和	明治大学政治経済学部教授
西郷	浩	早稲田大学政治経済学術院教授
菅	幹雄	法政大学経済学部教授
椿	広計	情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設 副施設長